

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	市民文化会館改修事業			事業番号	35-106
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	市民生活部	大津 隆治	市民協働課市民文化会館担当	倉橋 一夫	

計 画 (Plan)							
総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち			
		基本政策	9	快適で暮らしやすいまちづくり			
		施策展開の方向	16	便利で機能的なまちをつくる			
		施策	35	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進			
予算事業名	市民文化会館改修事業費						
事務区分〔選択〕	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務		(選択してください)→	法令上の位置づけ	実施する規定はない		
事業開始年度	開始年度	令和3年度 ～		終了年度	令和10年度		
関連法令等							
国・県の計画等				計画期間			
関連個別計画				計画期間			
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	築後40年を経過した市民文化会館において、法令に適合していない大・小ホールの特設天井や機能維持のための大規模改修が必要となっている。						
目 的 (何をどうしたいのか)	大・小ホールの特設天井を改修し、天井崩落の危険性を事前回避する。併せて、電気設備や消防設備等の経年劣化した部分について必要な改修を加え、今後20年間の使用を可能にする。						
主な対象 (誰・何を対象に)	市民文化会館大・小ホールの特設天井、受変電設備、トイレ、消防設備等の改修						
事業内容 (手段、手法など)	・施設設備の老朽化が著しい市民文化会館の現況を把握するための調査を実施し、改修事業を進めます。						
事業行程	項目	年度					
		令和3年度	令和4年度				
	市民文化会館の改修に伴う現況調査及び基本計画	現況調査委託	基本計画策定に向けた調整				
目 標	【指標名】	【現状値】	年度				
	市民文化会館改修に向けた取組状況	問題点・課題の整理 (令和2年度)	令和3年度	令和4年度			
			現況把握	改修方針決定			



事業実施 (Do)

事業実施 (D o)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)																	
実施方法 〔選択・記入〕		☐ すべて直接実施 ☒ 左記以外															
		☒ 業務委託	☐ 指定管理	委託先又は指定管理者		(株)石本建築事務所											
		☐ 補助金		補助先													
		☐ その他		具体的内容													
実施結果		項目				年度											
						令和3年度			令和4年度								
		市民文化会館の改修に伴う現況調査及び基本計画				現況調査委託											
実施した取組の内容		委託業務により、現況調査を実施し、文化会館の劣化度を調査し、改修緊急度のランク付けを行いました。															
目標の達成状況		【指標名】		【現状値】		年度											
		市民文化会館改修に向けた取組状況		問題点・課題の整理 (令和2年度)		令和3年度			令和4年度								
						現況調査業務											
コスト	年度		令和3年度 実績						令和4年度 実績								
	事業費合計 (a)				9,053		千円						千円				
	内訳	国県支出金 ①				0		千円						千円			
		地方債 ②				0		千円						千円			
		その他特財 ③				0		千円						千円			
		一般財源 (a)-①-②-③				9,053		千円				0		千円			
	国県支出金の内容																
	その他 特財の 内容	受益者負担		☐ 有 ☐ 無		前回の改定時期											
		その他															
	人件費	正規職員		2.5		人		20,450		千円				人		千円	
		その他の職員				人		0		千円				人		千円	
		人件費合計 (b)		2.5		人		20,450		千円				人		千円	
	トータルコスト (a)+(b)						29,503		千円				0		千円		
	単位 当たり コスト	対象 数	定義		市民文化会館		単位						単位				
			対象数		1		施設										
総事業費 ／対象数				29,503,000		円						円					

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	☒ 計画どおり (A) ☐ 概ね計画どおり (B) ☐ 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	現況調査の結果は、既に行革本部会議等で報告されており、計画どおりの進捗状況です。
実施水準 〔選択・記入〕	☐ 他市より高い水準で実施 (A) ☐ 他市と同水準で実施 (B) ☐ 他市より低い水準で実施 (C) ☒ 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	厚木市はPFIによる改修が決まったが、決定するまでの3年間に、天井の改修工法や費用検討、サウンディングによる改修手法の選定、要求水準書の策定等を行いました。秦野市は、まず指定管理者を決定し、特定天井の改修は5年以内に実施するという手法で、指定管理は今年度始まりました。平塚市はまた別の手法であり、一律の比較はできない状況です。
有効性 〔選択・記入〕	☒ 高い (A) ☐ 普通 (B) ☐ 低い (C)	A	左記判断理由	改修工事の前提として、劣化度を正確に把握することは必須であるため、現況調査は必要であり、有効性は高いものと考えます。
効率性 〔選択・記入〕	☒ 効率的に実施されている (A) ☐ 改善の余地がある (B) ☐ 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	今回の現況調査は、当館新築時の設計・監理を行った建築事務所だったこと及び社内に全ての有資格者(建築・機械・電気)が在籍しており、同一社内ですべての業務が完結する環境であったため、効率的な業務委託だったと考えます。


 取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	☐ 現状のまま継続 ☒ 見直しの上継続	事業推進上の課題	文化会館改修事業は、規模が大きく、工事費も高額である。また、市の公共施設整備計画と関連があるため、公共施設マネジメント課、建築住宅課、経営企画課、財政課等との十分な調整が必要です。
令和4年度の実行方針		現況調査の結果を踏まえ、改修基本設計に連なるサウンディング調査(委託)実施のための条件整理を行います。		
所管部長による総評		現況調査の結果、大・小ホールの特設天井やトイレ、電気設備、消防設備等、早急な改修が必要と判明しました。調査結果をよく精査し、今後20年間の使用を可能にするために、サウンディング調査を遺漏なく実施することが必要と考えます。		